

情 報

本科2年生が歯型彫刻テクニカルコンテストで最優秀賞(金賞)受賞

歯科技工士学科 木暮ミカ

受賞者：明倫短期大学歯科技工士学科(第11回生) 南雲淳平
 平成20年11月21日から23日までの3日間、大阪国際会議場(グランキューブ大阪)において国際歯科技工学会大会が開催され、海外からは米国・シンガポール・オーストラリアなど7カ国の歯科関係者が参加、来場者は4,000人を超える大盛況となる中、第4回開催を記念して「テクニカルコンテスト(日本歯科技工学会賞)【NDTプライズ】学生部門」が実施された。

テクニカルコンテストは、全国にある歯科技工士養成機関(専門学校、短期大学、大学)の学生を対象とし、規格化(15mm×15mm×100mm)された石膏棒に、所要時間1時間で「下顎左側第一大臼歯」の形態を彫刻し、その成果を競うものである。

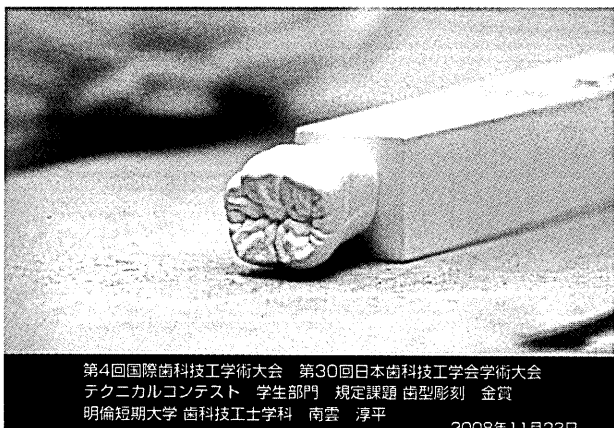
テクニカルコンテストには全国の歯科技工士養成機関から38校1,213名の学生が参加し、その中から選抜された各校の代表により、技術を競い合った。

カラーフォーラムJapan2008「ベストプレゼンテーション賞」を受賞して

歯科技工士学科 木暮ミカ

発表テーマは「歯冠周囲色の違いが歯科補綴物製作時のカラーマッチングに及ぼす影響について」。研究内容は、シェードテイキングで得られたデータの伝達方法と、色調再現をより確実にを行うための色の品質管理を検討する目的で、口腔内の歯冠周囲色と作業模型の色の相違が、色の記憶比較における再認能力にどの程度影響するかを調査したものである。その結果、歯冠周囲色を無彩色(グレー)にすることがエラー防止に最も効果があるということを示した。

「カラーフォーラムJapan」とは、国内の光学系の4つの学会が合同で開催する色彩をテーマとした学会であり、工学・物理学・心理学・医学・生理学・芸術学などの多彩な分野からそれぞれ著名な研究者が集まる。そういった中での受賞は、当該分野だけでなく、多くの異なる分野の研究者から、その成果が高く評価されたことになる。



第4回国際歯科技工学会大会 第30回日本歯科技工学会学術大会
 テクニカルコンテスト 学生部門 規定課題 歯型彫刻 金賞
 明倫短期大学 歯科技工士学科 南雲 淳平 2008年11月23日

図1. 受賞作品



図2. 表彰式

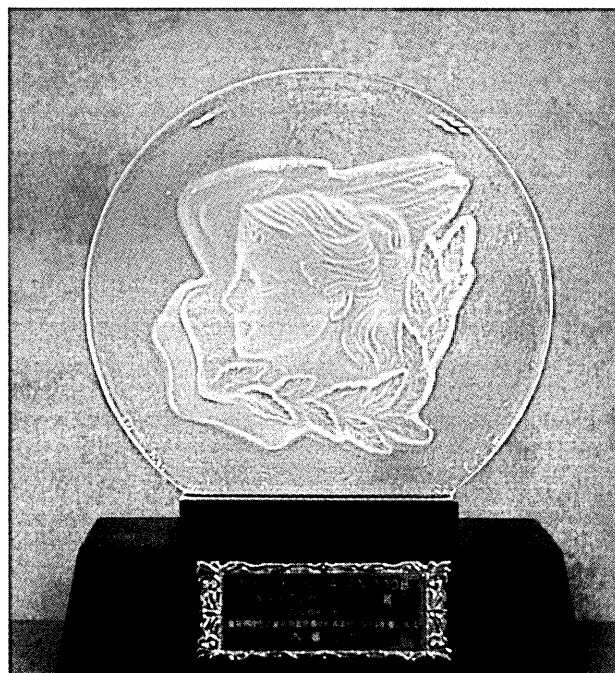


図3. 表彰盾